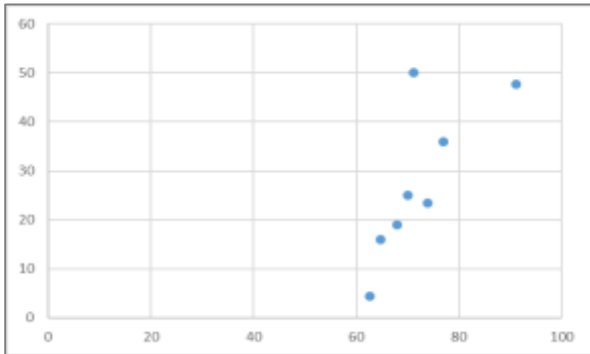


1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立高梁高等学校		
実践者等		神田 俊朗	実践日	令和6年5月23日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		公民・現代研究		
対象生徒(学年等)		普通科2年次		
育成を目指す資質・能力		■知識・技能(技術) ■思考力・判断力・表現力等 □学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	□クラウドやアプリの活用 □デジタルデータの保存 ■思考やデータの可視化		
		■データの共有や共同編集 □対話を充実させる活用 ■思考を促す活用		
		□表現を充実させる活用 □課題のやり取りと評価の支援 ■効率化や省力化		
		□その他()		
	家庭学習	■振り返り □探究 □反転学習 □補習・定着		
実践の内容				
【目標】				
1 ジェンダー・ギャップ指数＝GGI を軸に、世界各国と日本の現況を対比する				
2 初歩的な処理でデータ間の相関関係調べを試みる				
【授業】				
1 GGI に関する説明(日本が国際的に下位に位置づけられた指数であること、など)				
2 調査① GGI の階層別各国の、別の指数に関する順位調べ ⇒Jamboard の各国ページに、各班が調べたことをまとめる				
3 調査② ジェンダー・ギャップ指数と他のデータ数値との相関 ⇒3で調べた Jamboard 上の各国データ数値を観点ごとに班別でまとめ、Google スプレッドシート上に打ち込み、ジェンダー・ギャップ指数との散布図を作成して相関の有無を確認				
4 データ数値同士の相関関係の確認とまとめ				
【調査①】 ●指定の各国のランキングを確認する ①国旗画像を貼る ②一人当たりGDP(～位/～ドル) ③合計特殊出生率(～位/人) ④幸福度(～位/スコア＝指数) ⑤女性議員割合(～位/～%) ⑥公的教育費対GDP比率(～位/～%) ⑦報道自由度(～位/～pts＝ポイント) ⑧大学進学率(～位/～%) ⑨女性管理職比率【ILO MEMORVA と入力】(～位/～%) 【調査②】 ①一人当たりGDP(～ドル) : A班 ②合計特殊出生率(～人) : B班 ③幸福度(スコア＝指数) : C班 ④女性議員割合(～%) : D班 ⑤公的教育費対GDP比率(～%) : E班 ⑥報道自由度(～pts＝ポイント) : F班 ⑦大学進学率(～%) : G班 ⑧女性管理職比率(～%) : H班  ⇒階層別8カ国の GGI (横軸) と女性議員割合 (縦軸) の相関を調べるため、ある班が作成した散布図グラフ。両者に正の相関があることが読み取れる。				
【本時と家庭学習との連動】				
授業後、GGI と各指標との間の相関関係(正あるいは負)があった場合、その結果からどういったことが読み取れるかを、生徒が各自で考え、意見を Google Forms で募り、スプレッドシートに集約して、次の授業で共有した。				